

## 町衛生自治会が快挙！ 第71回南日本文化賞を受賞

11月6日(金)、南日本新聞社が主催する第71回南日本文化賞の地域創生部門を受賞された町衛生自治会の皆さまが受賞報告のため、町長を訪問されました。

町衛生自治会は27品目の分別回収を行う「大崎システム」の仕組み作りに尽力され、町民全員で12年連続リサイクル率日本一を達成した実績や本町のSDGs推進の一翼を担っていることなどが高く評価された他、外国人との共生を目指し立ち上げた『多文化共生環境安全連絡会議』など、様々な取り組みが総合的に認められ、今回の受賞となりました。

町衛生自治会の中村幸一会長は「27品目の分別回収を原点とした取組みを評価していただき光栄に思います。今後も次世代に繋げていきたいと願っています」と述べられました。

なお、今回受賞された表彰状・盾などは、役場正面入り口に展示されています。



## OACから子ども食堂へ 子どもたちに農産物を寄附



11月6日(金)、OAC(大崎町農業青年クラブ)が、町内で子ども食堂を行う『こども食堂いちごちゃん』と『のがたこども食堂』に食材の寄附を行いました。

これは子どもたちへの食育に繋げることを目的に、青年農業者が生産した甘藷と米を子ども食堂へ寄附しました。

受け取ったいちごちゃんの代表を務める龍相いさ子さんは「子どもたちのため、美味しく調理し提供いたします」と感謝の気持ちを述べられました。

## 今年もいっぱい咲きました 在郷集落でコスモス満開



菱田地区の在郷自治公民館周辺の約3ヘクタールの畑に今年もコスモスの花が満開となりました。

菱田地域保全協議会が主体となって行っているもので今年で6年目になります。

同協議会の久徳優会長は「コロナの影響で、保育園児らのダンスや豚汁を振る舞うコスモス祭りは中止となりましたが、遠方からもたくさんの方々に来ていただき嬉しく思います」と述べられました。